



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場取引所 大

上場会社名 リスクモンスター株式会社

コード番号 3768 URL <http://www.riskmonster.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役CEO

(氏名) 菅野 健一

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役COO兼CFO

(氏名) 藤本 太一

TEL 03-6214-0331

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,254	3.8	109	△23.7	110	△22.9	62	△18.5
23年3月期第2四半期	1,208	9.2	143	8.4	143	7.9	76	15.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 39百万円 (△54.7%) 23年3月期第2四半期 87百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	1,600.66	—
23年3月期第2四半期	1,964.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,566	3,237	89.9
23年3月期	3,747	3,221	84.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 3,205百万円 23年3月期 3,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	500.00	500.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	750.00	750.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,570	4.4	215	△9.8	215	△10.5	120	△3.4	3,079.37

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	40,383 株	23年3月期	40,383 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,414 株	23年3月期	1,414 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	38,969 株	23年3月期2Q	38,969 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	6
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	6
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	6
3. 四半期連結財務諸表 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	10
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(4) セグメント情報等 .....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	12
4. 補足情報 .....	12
要約連結キャッシュフロー .....	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響による落ち込みからサプライチェーンの復旧とともに回復の動きが強まり、企業マインドは改善しつつあります。しかしながら、電力不足や原発の問題、円高の進行など不安材料が払拭されないことから、景気の先行きは依然予断を許さない状況が続いております。当社グループを取り巻く経営環境といたしましては、企業全般における経費削減傾向が続いており、厳しい事業環境となりました。今後も引き続き、お客様のサービス選別が厳しくなることが考えられます。

こうした状況の下、当社グループは以下のような取り組みを実施いたしました。

- ・「第3次中期経営計画（2011～2013年度）」をスタート（4月）
- ・東日本大震災における被災地復興支援プログラム「リスモン義援金」を実施（4月）
- ・eラーニングを中心とした企業の人材開発、育成支援サービスの拡大を目的に教育事業部を新設（4月）
- ・設立10周年記念配当として1株当たり500円の初配当を実施（6月）
- ・市場調査、マーケティング支援事業を拡大することを目的に、「第1回PRキャラクターブランド調査」報告書を発表（6月）
- ・サイバックス株式会社を移転し、グループの本社機能を集約（7月）
- ・与信管理サービス「e-与信ナビ」リニューアル（7月）
- ・集合研修とeラーニングを組み合わせ、定額制でリーズナブルな「ラーニングモンスター 研修パック」を提供開始（8月）
- ・事業継続計画に基づく障害復旧訓練（8月）
- ・企業活動調査第二弾「この企業に勤める人と結婚したいアンケート調査」報告書を発表（10月）

その結果、売上高につきましては、BPOサービスの売上高が増加し、また、ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）の売上高が堅調に推移したことで、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,254,918千円（前年同期比103.8%）となりました。

利益につきましては、東日本大震災の影響や長引く景気低迷の影響を受け、また、連結子会社のリストラ費用の計上もあり、当第2四半期連結累計期間の営業利益は109,620千円（前年同期比76.3%）、経常利益は110,996千円（前年同期比77.1%）、四半期純利益は62,376千円（前年同期比81.5%）となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		前年同期比 (%)
	対売上比 (%)		対売上比 (%)		
売上高 (千円)	1,208,425	100.0	1,254,918	100.0	103.8
営業利益 (千円)	143,733	11.9	109,620	8.7	76.3
経常利益 (千円)	143,982	11.9	110,996	8.8	77.1
四半期純利益 (千円)	76,536	6.3	62,376	5.0	81.5

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

第1四半期は、上述のとおり収益も落ち込み、連結子会社のリストラ費用の負担もあり低調となりましたが、第2四半期は、引き続き厳しい状況にあるものの、与信管理サービス等のコンサルティングサービスが好調だったことやビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）が順調に推移したこと、グループの本社機能を集約したことに伴いコストが削減されたこと、また、グループ内での業務フローの共通化を進めたこと等から第1四半期に比べ収益構造が改善いたしました。

当第1四半期と第2四半期の売上高及び利益の推移は、次のとおりであります。

	当第1四半期 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)	対比 (%)
売上高 (千円)	603,992	650,926	107.8
営業利益 (千円)	32,004	77,615	242.5
経常利益 (千円)	34,156	76,840	225.0
四半期純利益 (千円)	24,743	37,632	152.1

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

① セグメント別の業績について

セグメント別の売上高につきましては、セグメント間取引消去前の売上高で記載しております。

ア) 与信管理サービス等について

当第2四半期連結累計期間の与信管理サービス等の売上高の合計は738,667千円（前年同期比95.7%）、セグメント利益は71,109千円（前年同期比76.9%）となりました。

第1四半期は、売上高が伸び悩んだことに伴いセグメント利益も低調となりましたが、第2四半期は、ポートフォリオサービス及びマーケティングサービスの売上高が好調だったことによりセグメント利益も大幅に回復しました。しかしながら、依然ASPサービスの売上高が低調で、累計では与信管理サービス等全体の売上高、セグメント利益ともに前年同期を下回りました。

与信管理サービス等の売上高をサービス分野別に示すと、次のとおりであります。

セグメント	サービス分野別	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	前年同期比 (%)	
与信管理サービス等	ASPサービス (千円) (注) 2	642,534	93.8	
	コンサルティングサービス	ポートフォリオサービス及び マーケティングサービス (千円)	70,336	110.2
		その他 (千円) (注) 3	25,796	112.3
		コンサルティングサービス売上高 合計 (千円)	96,133	110.8
	与信管理サービス等売上高合計 (千円)		738,667	95.7

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 当社が独自に開発したシステム「RM2 Navi System」を利用して、企業信用情報提供会社の有する約250万社の企業情報の信用力を定量化し、インターネット経由で与信情報を提供するサービス
3. 「金融サービス」等を含むその他サービス

i) ASPサービス

会員数は増加しているものの、長引く景気低迷による経費削減対策の影響を受け、利用件数が落ち込んだこと等により、与信管理サービス等のASPサービスの売上高は642,534千円（前年同期比93.8%）となりました。

また、与信管理サービス等の会員数の推移（累計）は、次のとおりであります。

回次	第10期	第11期	当第2四半期
決算年月	平成22年3月	平成23年3月	平成23年9月
会員数（注）	3,043	3,488	4,006
（内、提携会員数）	（－）	（599）	（1,059）

（注）与信意思決定サービス「e-与信ナビ」及び関連サービスを利用できるライト会員、「e-与信ナビ」及び動態管理サービスである「e-管理ファイル」並びに関連サービスを利用できるレギュラー会員、提携先とのサービス相互提携を行う提携会員の合計

ii) コンサルティングサービス

ポートフォリオサービスの受注件数及び1案件当たりの受注金額が増加したこと等により、ポートフォリオサービス及びマーケティングサービスの売上高が70,336千円（前年同期比110.2%）となりました。また、金融サービス等を含むその他の売上高が25,796千円（前年同期比112.3%）と順調に推移した結果、コンサルティングサービスの売上高の合計は96,133千円（前年同期比110.8%）となりました。

イ) ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）について

当第2四半期連結累計期間のビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）の売上高の合計は256,311千円（前年同期比102.2%）、セグメント利益は56,458千円（前年同期比115.5%）となりました。

会員数は減少しているもののユーザー数が堅調に推移したことに伴い、第1四半期及び第2四半期ともに売上高及びセグメント利益は前年同期を上回りました。

ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）の売上高をサービス分野別に示すと、次のとおりであります。

セグメント	サービス分野別	当第2四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）	前年同期比 （%）
ビジネスポータル サイト（グループ ウェアサービス 等）	ASPサービス（千円）（注）2	222,043	104.0
	その他（千円）（注）3	34,267	92.1
	ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等） 売上高合計（千円）	256,311	102.2

（注）1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

- インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO（ジェイモット）」を利用できる会員向けサービス
- ホスティングサービス等を含むその他サービス

また、ビジネスポータルサイトの会員数及びユーザー数の推移（累計）は次のとおりであります。

回次	第10期	第11期	当第2四半期
決算年月	平成22年3月	平成23年3月	平成23年9月
会員数（ID数）	4,214	3,955	3,861
ユーザー数	128,927	131,085	130,954

（注）インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO（ジェイモット）」を利用できる会員及びユーザー数

ウ) BPOサービスについて

当第2四半期連結累計期間のデジタルデータ化サービス等を中心としたBPOサービスの売上高の合計は215,905千円(前年同期比253.0%)となりました。グループの事務処理集中センターとしてコストセンター部門の費用を負担しているため、セグメント損失は4,165千円(前年同期はセグメント損失14,193千円)となり改善しました。

売上高につきましては、平成23年1月に連結子会社リスモン・マッスル・データ株式会社が日本アウトソーシング株式会社の全株式を取得したこと等により、第1四半期及び第2四半期ともに前年同期比を大きく上回りました。セグメント利益につきましては、収益構造が大幅に改善いたしました。第2四半期は当初の予定どおりに案件が進捗せず固定費を回収できなかったこと等から第1四半期に比べ落ち込みました。

BPOサービスの売上高をサービス分野別に示すと、次のとおりであります。

セグメント	サービス分野別	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	前年同期比 (%)
BPOサービス (注) 2	デジタルデータ化等BPOサービス(千円)	197,911	264.3
	派遣事業サービス(千円)	17,993	172.0
	BPOサービス売上高合計(千円)	215,905	253.0

- (注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。  
2. ビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)サービス

エ) その他サービスについて

当第2四半期連結累計期間の教育関連事業を含むその他サービスの売上高は75,874千円(前年同期比63.0%)、セグメント損失は13,816千円(前年同期はセグメント利益16,568千円)となりました。

教育関連事業を行う連結子会社サイバックス株式会社の第1四半期は、東日本大震災の影響を受け案件が先送りになったこと等により収益が前年同期に比べ大幅に悪化しセグメント損失を計上することとなり、体制の再構築や機能集約のために本社を移転したことに伴い一時的にコストが増加いたしました。第2四半期は、引き続き景気低迷の影響を受け厳しい状況にあるものの、第1四半期に実施したコスト削減施策の効果や、グループ内での業務フローの共通化が図られたこと等から収益構造が改善され、黒字転換いたしました。

その他サービスの売上高をサービス分野別に示すと、次のとおりであります。

セグメント	サービス分野別	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	前年同期比 (%)
その他	「教育関連事業」等を含むその他サービス(千円)	75,874	63.0

- (注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

② 会員数について

当第2四半期連結会計期間末の会員数は、与信管理サービス等が4,006会員、ビジネスポータルサイトが3,861会員、合計7,867会員となりました。会員数の推移（累計）を示すと、次のとおりであります。

回次	第8期	第9期	第10期	第11期	当第2四半期
決算年月	平成20年3月	平成21年3月	平成22年3月	平成23年3月	平成23年9月
与信管理サービス等（注）1	3,783	3,378	3,043	3,488	4,006
ビジネスポータルサイト （グループウェアサービス等）（注）2	4,196	4,371	4,214	3,955	3,861
会員数合計	7,979	7,749	7,257	7,443	7,867

- （注）1. 与信意思決定サービス「e-与信ナビ」及び関連サービスを利用できるライト会員、「e-与信ナビ」及び動態管理サービスである「e-管理ファイル」並びに関連サービスを利用できるレギュラー会員、提携先とのサービス相互提携を行う提携会員の合計
2. インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO（ジェイモット）」を利用できる会員
3. 会員数は当社に登録されているID数  
なお、与信管理サービス等及びビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）に重複登録している会員が一部おります。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比べ97,651千円減少し、2,446,921千円となりました。これは主に、法人税等の納付及び未払金の支払、連結子会社サイバックス株式会社の借入金の返済等により現預金が減少したことや売掛金が減少したこと等によるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ83,614千円減少し、1,119,196千円となりました。その結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ181,265千円減少し、3,566,118千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末と比べ139,722千円減少し、312,463千円となりました。これは主に、法人税等の納付及び未払金の支払等によるものです。固定負債は前連結会計年度末と比べ57,145千円減少し、16,351千円となりました。これは主に、サイバックス株式会社の借入金の返済等によるものです。その結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ196,867千円減少し、328,815千円となりました。

純資産は、四半期純利益を計上したこと等により前連結会計年度末と比べ15,602千円増加し、3,237,303千円となりました。また、自己資本比率は89.9%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しといたしましては、売上高2,570百万円（前年同期比104.4%）、営業利益215百万円（前年同期比90.2%）、経常利益215百万円（前年同期比89.5%）、当期純利益120百万円（前年同期比96.6%）を予定しております。

業績予想に対する当第2四半期連結累計期間の進捗につきましては、景気低迷の影響を受けたことや連結子会社のリストラ費用を計上したものの、売上高、利益ともにほぼ当初の予定どおりに進捗しております。今後は、引き続きグループ内での業務フローの共通化を進めることで一層の低コスト構造の維持に努め、当初の業績予想を達成すべくグループ一丸となって邁進してまいります所存です。

現時点におきましては、通期の連結業績予想の変更はございません。

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期（四半期）純利益
平成24年3月期予想	2,570	215	215	120
平成23年9月第2四半期実績	1,254	109	110	62
進捗率（%）	48.8	51.0	51.6	52.0

2. サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。



3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,022,793	1,957,184
受取手形及び売掛金	361,173	329,561
有価証券	99,996	99,996
原材料及び貯蔵品	5,565	5,268
その他	58,932	58,641
貸倒引当金	△3,887	△3,730
流動資産合計	2,544,572	2,446,921
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	68,947	69,435
減価償却累計額	△22,791	△26,320
建物及び構築物(純額)	46,155	43,115
工具、器具及び備品	364,255	393,023
減価償却累計額	△252,572	△283,705
工具、器具及び備品(純額)	111,683	109,318
リース資産	6,195	6,195
減価償却累計額	△2,263	△2,883
リース資産(純額)	3,931	3,312
建設仮勘定	6,035	—
有形固定資産合計	167,805	155,745
無形固定資産		
のれん	32,030	22,643
ソフトウェア	518,059	508,647
その他	45,867	33,909
無形固定資産合計	595,957	565,200
投資その他の資産		
投資有価証券	300,672	267,421
その他	138,723	131,075
貸倒引当金	△347	△246
投資その他の資産合計	439,047	398,250
固定資産合計	1,202,811	1,119,196
資産合計	3,747,383	3,566,118

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	241,151	164,149
未払法人税等	95,084	48,011
賞与引当金	1,232	1,232
その他	114,717	99,069
流動負債合計	452,185	312,463
固定負債		
退職給付引当金	7,641	7,884
その他	65,856	8,467
固定負債合計	73,497	16,351
負債合計	525,682	328,815
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,107,428	1,107,428
資本剰余金	1,308,089	1,308,089
利益剰余金	806,548	849,439
自己株式	△68,700	△68,700
株主資本合計	3,153,365	3,196,256
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,656	9,199
その他の包括利益累計額合計	23,656	9,199
新株予約権	3,884	4,580
少数株主持分	40,794	27,266
純資産合計	3,221,701	3,237,303
負債純資産合計	3,747,383	3,566,118

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,208,425	1,254,918
売上原価	495,329	577,056
売上総利益	713,095	677,862
販売費及び一般管理費	569,362	568,242
営業利益	143,733	109,620
営業外収益		
受取利息	710	340
受取配当金	1,754	4,107
その他	801	218
営業外収益合計	3,266	4,665
営業外費用		
支払利息	1,182	1,194
投資事業組合運用損	1,566	1,394
その他	267	699
営業外費用合計	3,016	3,288
経常利益	143,982	110,996
特別利益		
段階取得に係る差益	1,298	—
投資有価証券売却益	—	16,047
新株予約権戻入益	57	35
負ののれん発生益	—	4,973
特別利益合計	1,356	21,056
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,371	—
投資有価証券売却損	—	11,840
事務所移転費用	—	3,954
固定資産除却損	—	308
特別損失合計	2,371	16,102
税金等調整前四半期純利益	142,966	115,950
法人税、住民税及び事業税	47,207	44,309
法人税等調整額	10,122	17,315
法人税等合計	57,329	61,624
少数株主損益調整前四半期純利益	85,636	54,325
少数株主利益又は少数株主損失(△)	9,100	△8,050
四半期純利益	76,536	62,376

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	85,636	54,325
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,299	△14,457
その他の包括利益合計	2,299	△14,457
四半期包括利益	87,935	39,867
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78,835	47,920
少数株主に係る四半期包括利益	9,100	△8,052

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	与信管理 サービス等	ビジネスポ ータルサイト (グループウ ェアサービス 等)	BPO サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	771,197	249,922	68,124	1,089,243	119,181	1,208,425	—	1,208,425
セグメント間の内部 売上高又は振替高	893	808	17,223	18,926	1,343	20,269	△20,269	—
計	772,091	250,731	85,347	1,108,170	120,524	1,228,694	△20,269	1,208,425
セグメント利益又は 損失(△)	92,452	48,899	△14,193	127,158	16,568	143,727	5	143,733

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育関連事業を含んでおりま  
す。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	与信管理 サービス等	ビジネスポ ータルサイト (グループウ ェアサービス 等)	BPO サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	738,377	256,234	185,752	1,180,364	74,554	1,254,918	—	1,254,918
セグメント間の内部 売上高又は振替高	290	76	30,152	30,519	1,319	31,839	△31,839	—
計	738,667	256,311	215,905	1,210,883	75,874	1,286,758	△31,839	1,254,918
セグメント利益又は 損失(△)	71,109	56,458	△4,165	123,403	△13,816	109,586	33	109,620

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育関連事業を含んでおりま  
す。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

4. 補足情報

要約連結キャッシュ・フロー

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー ※1	250,761	160,137
投資活動によるキャッシュ・フロー ※2	△82,007	△121,153
財務活動によるキャッシュ・フロー ※3	△1,500	△104,660
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	167,254	△65,676
現金及び現金同等物の期首残高	1,739,347	2,022,441
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,906,602	1,956,764

前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
主要な費目及び金額は次のとおりであります。 ※1 税金等調整前四半期純利益 142,966 減価償却費 140,524 法人税等の支払額 △10,197 ※2 有形固定資産の取得による支出 △24,333 無形固定資産の取得による支出 △103,130 投資有価証券の取得による支出 △46,421 ※3 配当金の支払額 —	主要な費目及び金額は次のとおりであります。 ※1 税金等調整前四半期純利益 115,950 減価償却費 144,367 法人税等の支払額 △89,694 ※2 有形固定資産の取得による支出 △34,741 無形固定資産の取得による支出 △101,133 投資有価証券の取得による支出 △60,447 ※3 長期借入金の返済による支出 △84,934 配当金の支払額 △19,146